

らんこし作家デビュー プロジェクト 本出版で町おこし



非常口
因

F
又
学



3、4月中展示
「らんこし作家デビュープロジェクト」
一本出版で町おこし

興味をそられる本がたくさん！
ぜひ、この機会に読んでみませんか？
※3月14日までは即日閲覧をお願いします。
3月15日から貸出しを行います。
貸出期間は1週間です。



住民作家
執筆ピーク



1. 企画内容

・タイトル

らんこし作家デビュー・プロジェクト～本出版で町おこし～

・ポイント

住民が一度に大量の本を出版する

著者は世帯1%以上の数とする *2,337世帯（平成26年1月末現在）

著者は町に関係する人であれば可とする

すべて電子書籍で無料公開する

本は2冊製本する

著者は本の1冊分の製本実費（2,000円～3,000円）を負担する

1冊は著者に渡し、1冊は図書館に寄贈する

図書館で本の閲覧や貸出ができるようにする

出版記念会を開催する

住民有志でプロジェクトを実行する

・企画の立案

町にはいろいろな観光資源がある

↓

町外向けのPRが弱いという課題があった

↓

住民が自ら情報発信することができないか

↓

電子書籍という時代の流れ

↓

電子書籍で住民のコンテンツを発信する

↓

製本した本も作成し、著者の自己実現も図る

↓

図書館にも寄贈し、住民同士の交流にもつなげる

・スケジュール

実行委員会の立ち上げ（H25.11.6）

↓

著者向け説明会の開催（H25.12.9）

↓

原稿の締め切り（H26.2.9）



電子書籍の公開及び出版記念会の開催（H26.3.1）

・成功の秘訣

一度に大量の本を出版した（例：世帯1%）

電子書籍という新しいツールを活用した

実行委員は各分野のスペシャリストを揃えた

2. 実行委員メンバー

・内容

全国でも前例がない取り組みであるため、町内において各分野に一番精通している、チャレンジ精神のある若手で実行委員会を立ち上げた。

・メンバー

リーダー：高橋 伸次（43歳）

→バイタリティーがある

サブ：高橋 登（44歳）

→情報発信力が高い

サブ：渡辺 豪（42歳）

→文才がある

事務局：琵琶 博之（42歳）

→実行力がある

*実行委員のメンバーは、本プロジェクト以外の活動が多岐にわたり多忙であるため、情報連絡のほとんどはフェイスブックを利用した

・成功の秘訣

少数精鋭の実行委員とし、役割を明確化させていた

3. 電子書籍サイト

- ・利用したサイト

パブー (<http://p.booklog.jp/>)

- ・選定の理由

電子書籍の作成と配信が無料である

オンデマンド印刷により製本することができる

PDFの原稿を一括してシステムにインポートすることができる（有料版）

外部サイトにも配信することができる（有料版）

*プロジェクトでは、rankoshiという一つのアカウントを利用し、月額525円の有料版を契約した

- ・成功の秘訣

選定の際に複数の電子書籍サイトを利用した

選定後は、実行委員でパブーを使いすべての流れを実践した

- ・その他

パブーには、企画の内容について事前に情報を入れていた

4. 運営体制

・ 内容

実行委員4名は、それぞれ担当する著者を決めていた。また実行委員間の連絡はフェイスブックのメールを活用していた。

・ 実行委員の担当著者への主な役割

企画内容の周知

見込み著者の発掘

説明会開催の連絡

著者マニュアルの配布

執筆状況の確認

原稿の受領

表紙及び奥付の確認

電子書籍サイトへ原稿を反映

オンデマンド印刷の発注

出版記念会開催の連絡

製本料金の回収

閲覧数の状況報告

・ 成功の秘訣

それぞれ担当する著者を決め、責任を明確化させていた

5.住民著者

・内容

最終的には、38冊の本が完成した。内訳は町内25、町出身者3、町関係者10であった。

・人数の推移

声をかけたのは約80人（団体含む）

↓

執筆してもいいとの回答は約50人

↓

最終原稿は38

・ポイント

観光資源（米やパウダースノーなど）に関する本は網羅するようにした
小説、自分史、団体紹介、写真、イラストなど多岐にわたるようにした
町内だけでなく、町出身者や町関係者にも参加してもらった
著者の最年少と最年長を意識した

・成功の秘訣

製本した実物を見せ、平易な内容でもいいことを理解してもらった
最終原稿は執筆できると回答した人の7割～8割と想定していた

6.著者向け説明会

・内容

町内のオフトーク通信、facebookでのイベントページで企画内容や著者向け説明会開催の告知を行った。

・説明会のメニュー

企画の内容

著者負担の料金

本テーマのサンプル提示

原稿の作成条件

著者向けマニュアルの配布

今後のスケジュール

担当メンバーの紹介

*住民説明会に参加できなかった著者には、担当する実行委員メンバーから個別にフォローを実施

・成功の秘訣

著者向けマニュアルを配布し、詳細に原稿の作成条件を示した

電子書籍の閲覧デモを行い、表示方法のイメージを理解してもらった

製本した本を見てもらい、実物のイメージを掴んでもらった

7.原稿締切

- ・ 内容

住民説明会の後、原稿締切までの日数を約50日間とした。

- ・ ポイント

実行委員メンバーから各担当著者に3回ほど状況確認を行った
実行委員メンバーは早期に自分の電子書籍を完成させた

- ・ 参考

締切日までに原稿を提出した著者は約8割であった
残りの約2割の著者も締切日から10日ほどで原稿の提出があった

- ・ 成功の秘訣

実行委員メンバーから各担当著者に定期的に進捗状況を確認した
原稿締切日を15日間ほど余裕をみて設定していた

8. 出版記念会

・内容

電子書籍の公開日とあわせて、出版記念会を開催した。

・出版記念会のメニュー

実行委員長の挨拶

来賓紹介

祝文紹介

電子書籍の閲覧方法の説明

各著者から1分間スピーチ

著者代表（最年長・最年少）から町長へ本の寄贈

記念撮影

・工夫した点

欠席する著者で希望する人はビデオメッセージを流した

閲覧数トップの著者に商品券を渡すこととし、本をPRしてもらうことにした

出版記念会の後、プレス関係者とともに図書館に移動し本を展示した

ユーストリームでの配信や著者スピーチをyou tubeに動画公開した

・ボランティアスタッフ

受付：5名（中学生と高校生）

司会：1名

カメラマン：1名

・成功の秘訣

著者を特別扱いにするようにした（例：リボン、席札など）



9.本の寄贈

・内容

プロジェクトにより完成した本を図書館に寄贈し、一定期間、特設コーナーに展示の後、貸出できるようにしている。

・ポイント

住民が執筆していることで、住民同士の交流促進につながっている
図書館の新たな魅力向上につながっている

*当初、知事への寄贈や道立図書館での展示も検討したが、住民同士の交流促進を重視し、町内の図書館に寄贈することとした

・成功の秘訣

初期の段階から、町内の図書館に寄贈することで話を進めていたため、図書館側の配慮により、特設コーナーの設置等をしてもらうことができた

・その他

住民からの問合せも想定されるため、今後、図書館で電子書籍のセミナーを検討したい



10. 閲覧数などの成果

- ・ 電子書籍の閲覧数

3月1日～3月31日の総閲覧数は34,276

1冊あたりの平均は902

1ヶ月間で一番多かった本の閲覧数は12,181

一番少なかった閲覧数でも92であった

* 閲覧数トップの著者に実行委員長から商品券を進呈している

- ・ 経費

約15万円

* 約10万円は図書館の寄贈分の製本費用、5万円は出版記念会のユーストリーム等の委託費用

- ・ 掲載メディア

北海道新聞4回、読売新聞2回、ヤフー2回 その他テレビ、ラジオ、雑誌など多数

- ・ 成功の秘訣

地元記者や記者クラブへの投げ込みによるリリースだけではなく、ネットによるプレスリリースを行うようにした。（電子書籍という性質上、ネット媒体での掲載も多かった）



11.参考資料及び問合せ先

- ・電子書籍を活用したプロジェクトに関するノウハウの公開

<http://p.booklog.jp/book/84001/read>

- ・まとめサイトを活用したプロジェクトに関する情報の集約

<http://matome.naver.jp/odai/2139417864642610201>

- ・プロジェクトで使用した資料のダウンロード提供

<http://nisekoweb.sblo.jp/article/92181273.html>

- ・問合せ先

らんこし作家デビュー・プロジェクト～本出版で町おこし～

リーダー：高橋伸次、サブリーダー：高橋登、渡辺豪

事務局：琵琶博之（biwa@gold.ocn.ne.jp）

2014年4月5日 初版発行

あなたの街も本出版で町おこし～ノウハウ公開～

発行：らんこし作家デビュー・プロジェクト実行委員会
